

知的ボーダーライン者に対する就労支援の必要性

早稲田大学 教育・総合科学学術院

梅永雄二



知的ボーダーラインとは

- 英語では **BIF(Borderline Intellectual Functioning)** と記される。
- 知能検査によるIQ値が概ね70~84の範囲である。
- つまり、IQは平均以下だが知的障害と診断される水準以上であることを特徴とする。

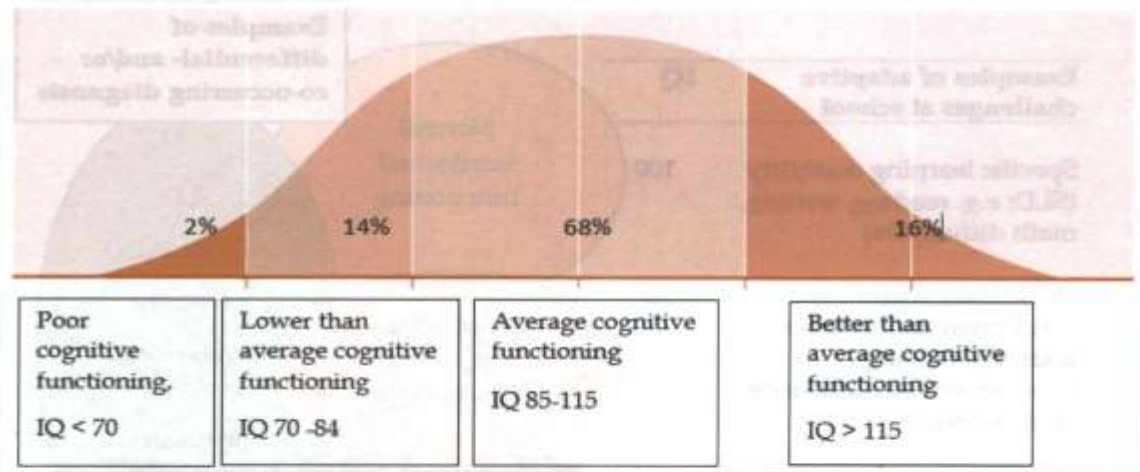
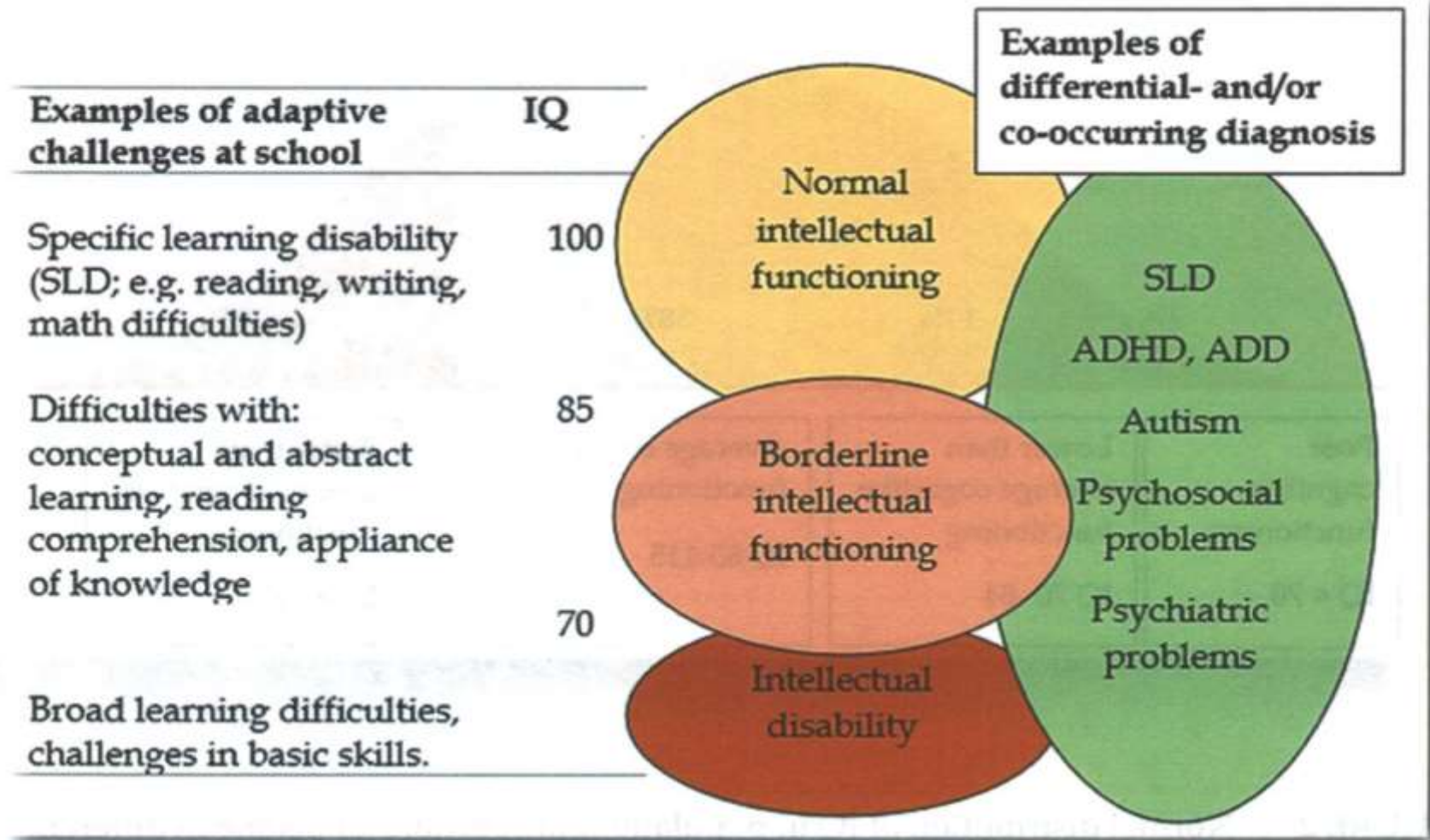


FIGURE 2 Normal distribution of IQ in population, proportions of people in different IQ intervals, and description of the level of cognitive functioning.

(Kiuru,2022)



(Kiuru,2022)

FIGURE 1 Definition of borderline intellectual functioning (BIF). Definition includes both lower than average cognitive functioning, *and* adaptive challenges. Differentiation to normal intellectual functioning and intellectual disability should be considered. Other neuropsychiatric disorders need to be acknowledged as a possible differential- and/or co-occurring diagnoses.

- BIFは、DSM-IV-TRまでは、IQが71～84の範囲で定義されていたが、DSM-5では、IQの境界は分類の一部ではなくなり、この概念は明確な定義がないままになっている。
- BIFは、DSMの一番後ろの「注意または治療の焦点である精神障害に属さない状態のVコード」となっている。
- Vコードとは、「临床上注目すべきその他の状態」と定義されているが、精神科治療の対象外である。

(Wieland・Zitman,2016)

- DSM-IIIでは、境界性知的機能を持つ人の大多数は、適応行動に著しい障害はないという主張がなされた。
- DSM-5では、個人の境界性知的機能が臨床的に注目される場合、または治療や予後に影響を及ぼす場合に、Vコードを使用することができると述べられているだけである。
- DSMとICDによれば、境界性知的機能障害は障害ではない。
 - 境界性知的機能を持つ子どもは、貧しい養育を受けるという特異なリスクがある。
- 社会の複雑化により、境界性知的機能のある人の多くは適応機能に問題を抱えている。
- 日常生活が困難で、貧困を経験するリスクが高いにもかかわらず、社会的支援が限られており、専門的なサービスを受けることができない。

BIF者は

- 話すことや書くことに遅れがある。
 - 記憶に困難がある。
 - 行動と結果を結びつけることに困難がある。
 - 学校時代学習が困難であった。
 - 衝動的に行動してしまうことがある。
 - なぜ自分に課題があるのか理解できない。
 - ときに恥ずかしいと感じることがある。
-
- 就労面では、特にストレスの多い仕事やペースの速い仕事で、仕事を維持するのに苦勞する。

American Bar Association (Capital Clemency Resource Initiative)

- Bazelon Centerの報告
- BIFの人は、認知の課題を平常のように見せかけてごまかそうとするかもしれないし、いずれにせよ、知的障害という診断がなければ公的サービスを受ける資格がない。
- その結果、BIF者は一般に認知されておらず、就労などの問題で対応が困難な場面に直面する結果を生じている。

- BIF者は不安定就労や失業などの生活を送り、常に気を張って生活しているにも関わらず、社会の他の人々からは気づかれていない。
- BIF者、平均以上の知能を持つ人よりも精神衛生上の問題を発症しやすく、知的障害を持つ人よりも社会生活を営むことが困難である可能性がある。
- 欧米の研究では、薬物誤用や人格障害など、ほとんどすべての精神疾患の発症リスクが、小児期だけでなく成人期においても高いことが示されている。
- その結果、就労できない場合は犯罪に手を染めることが数多く報告されている。

BIFが行動に与える影響

- BIF者は、子どものころは学校でうまくやっていくことに苦勞し、大人になってからは就勞が定着できず離職することが多い。
- 仕事に集中すること、複雑な指示に従うこと、複数の仕事を行うこと、主体的に判断力を発揮することが難しい。
- よって、何の配慮もない職場では苦勞することが多い。
- BIF者は、サポートされ、具体的で予測可能な仕事を与えられると、うまくいく可能性が高くなる。

知的障害者とBIF者の支援制度

知的障害者

- 教育
特別支援学校や特別支援学級において特別支援教育を受けることができる。
- 福祉
療育手帳を取得することができ、障害者年金の対象者となる
- 労働
障害者雇用率に該当するため、助成金の対象となる

BIF者

- 教育
通常の小中学校に進学し授業についていけなくなる
- 福祉
何の支援もなし
- 労働
雇用率に該当しない。
助成金の対象とならない

THREATS	Early childhood	Mid Childhood	Adolescents	Early Adulthood	Middle adulthood	Old Age
	<ul style="list-style-type: none"> • Low birth weight • Poor family environment • Poor parenting 	<ul style="list-style-type: none"> • Academic difficulties • Cognitive difficulties • Social difficulties: play behaviour, interpretation of emotions and social situations, antisocial behaviour • Exclusion at school • Exclusion at home 	<ul style="list-style-type: none"> • Cognitive difficulties • No education beyond elementary school • Risk of social exclusion • Risk of exploitation and bullying 	<ul style="list-style-type: none"> • Difficulties of having partnership • Difficulties of having and maintaining job • Increased risk for severe mental health problems 	<ul style="list-style-type: none"> • Risk of unemployment • Risk of disability pension • Risk of mental health problems 	???
		RISK OF MENTAL HEALTH PROBLEMS				
SUPPORT	Early childhood	MENTAL HEALTH TREATMENT: lower-than-average cognitive functioning must be noticed (e.g. FACT)				
	<ul style="list-style-type: none"> • Early detection • Education of parents • Early intervention on social skills • Family intervention 		<ul style="list-style-type: none"> • Support to independency, practical help on direct needs 			
		<ul style="list-style-type: none"> • Special education at school • Interventions on specific skills 				
		RECOGNITION AND EDUCATION				



FIGURE 7 Threats and possible means of support at each stage of life. (Kiuru,2022)

参考文献

- American Bar Association: Borderline Intellectual Functioning. [https:// Capital Clemency.org/mental-health-facts-sheets/borderline-intellectual-functioning/](https://CapitalClemency.org/mental-health-facts-sheets/borderline-intellectual-functioning/)
- Hassiontis,A, Noor,M. Bebbington,P., Afuam A. Wieland, J. and Qassem,T.(2017):Borderline intellectual functioning and psychosis: Adult Psychiatric Morbidity Survey evidence. The British Journal of Psychiatry, 211, 1, 50 - 51
- Wieland,J., Zitman,F.G.(2016):It is time to bring borderline intellectual functioning back into the main fold of classification systems. The British Journal of Psychiatry, 40,204-206